

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう。「アップとルーズで伝える」「4年3組から発信します」
- 2 目標
  - 対比・まとめなど段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。
  - 学校にあるものについて知らせるために取材し、相手と目的に応じて選材して分かりやすく伝える。
- 3 指導計画（全15時間）
  - 第1次 「アップとルーズで伝える」を読む。（5時間）
    - 第1時 教材文を通読し、学習の見通しを持つ。
    - 第2時 ①，②段落を読み、写真にキャプションをつける。
    - 第3時 ③段落と①，②段落の関係をとらえる。
    - 第4時 ④，⑤段落を読み、写真のよいところを見つける。（本時）
    - 第5時 ⑦⑧段落を読み、筆者の主張をとらえる。
  - 第2次 自校の紹介マップをつくる。（9時間）
  - 第3時 単元を振り返る。（1時間）
- 4 指導上の立場
  - 教材について

本教材は、テレビの映像で日常的に目にする「アップ」と「ルーズ」の働きについて順序立てて述べられたものである。児童にとって身近に感じられる内容であり、実際に確かめる事も容易である。

また、アップとルーズについて対比的に分かりやすく述べられており、キーワードやキーセンテンス、要約などの学習にも適している。
  - 児童の実態

削除しています。

- 研究主題との関わり

本校の研究主題は『「言葉の力」を育てる授業のあり方』である。この主題に迫るために、習得と活用を意図した授業を展開することとする。

本教材において習得に当たる内容は

  - ・「アップ」と「ルーズ」の特徴を写真と対応させながら読みとる。
  - ・キャプションをつけることをとおして内容の要約のし方を理解することであり、活用に当たる内容は
  - ・自校の紹介マップをつくる活動をとおして、内容を要約し効果的に伝える力を育てることである。

学習内容をもとにして、身近な玉川小学校の紹介マップを作る活動では、効果を考えてアップとルーズを使い分けたり、キャプションを工夫したりして読みとった内容の活用・応用を図るものである。

こうしたことは、言語活動の充実につながり、生きて働く「言葉の力」を育てるものである。

5 本時案

<p>目標</p>	<p>④⑤段落にある写真をもとにアップとルーズの画像の特徴を読みとり，段落相互の関係をとらえることができる。</p>
<p>学習活動</p>	<p>教師の支援と工夫</p>
<p>1 本時のめあてをもつ。</p>	<p>○本時の学習場面を音読する。 ○写真を提示し，本文と対応していることを確認し，めあてにつなげる。</p>
<p>④⑤段落の写真のよいところを見つけよう。</p>	
<p>2 写真をもとにアップとルーズのそれぞれの長所を読みとる。</p>	<p>○写真を印刷して配付し，写真のいい所をワークシートに書き込ませる。 ○どちらの長所についても考えさせる。</p>
<p>3 写真のいいところを発表しあう。</p>	<p>○アップとルーズでとられた写真を黒板に提示し，いいところを説明させる。 ○互いの意見を交流させる。</p>
<p>4 教師の提示する写真をみて教科書の写真との違いを考える。</p>	<p>○アップでもルーズでもない写真を提示し，④⑤段落の写真と比較させる。 ○写真はルーズの一部分をアップにしたものとする。 ○中途半端な写真では，どちらの特徴もなくなってしまうことをおさえる。</p>
<p>5 3の活動で読み取った内容が書かれている段落を探させる。</p>	<p>○「このように」に着目して，⑥段落が④⑤段落をまとめていることに気づかせる。 ○もう一度写真に戻り，説明させる。</p> <p>☆両者の特徴を読みとり，比較することができているか。</p>
<p>6 授業を振り返り，感想を書く。</p>	<p>○本時の学習を振り返り，ノートに感想を書かせる。</p>